

## 実証事業の具体化について (ディスカッション用ペーパー)

### 1. 前提

これまでのSWG会合におけるプレゼンテーションやアンケートにおいて、多数のユースケースが提案されているが、リソース（予算と時間）が限られている中、検証の優先順位を意識しながら、実証事業の具体化を図っていくことが必要。

### 2. キーワード

- 国民利便性、社会的影響度
  - ・ 3つのユースケースモデルの位置付け
  - ・ 個々のユースケースの優先度
  - ・ ユーザ・インタフェースの観点
  - ・ 普及展開方策（具体的な目標設定） 等
  
- システム実現性
  - ・ 必要とされる「作業」（と「コスト」）の明確化
  - ・ 実証における技術仕様のあり方
  - ・ 優先すべき検証項目 等
  
- 技術面・ルール面での課題
  - 別表参照

### 3. 具体化の方向性

上記2. に関する意見等を総合的に勘案し、実証事業の骨格を提示。

#### （重要事項）

- ・ 検証項目（具体的に列記）
- ・ 実証事業の規模感
- ・ 実証システムの技術仕様
- ・ 成果の普及展開（ロードマップ） 等

## 検討課題と解決の方向性

| 検討課題        |                              | 解決策またはその方向性 | 想定される検討主体 |
|-------------|------------------------------|-------------|-----------|
| 1. 技術面での課題  |                              |             |           |
| 1-1         | ユースケース間の認証連携                 |             |           |
| 1-2         | ユーザインタフェース                   |             |           |
| 1-3         | 利用者証明用シリアル番号の活用のあり方          |             |           |
| 1-4         | 顧客情報紐付の確実性の確保                |             |           |
| 2. ルール面での課題 |                              |             |           |
| 2-1         | 対象事務所管府省との協議                 |             |           |
| 2-2         | PIN 入力 of 要否の考え方             |             |           |
| 2-3         | 共通 PF の制度上の位置付け(代行、委託等)      |             |           |
| 3. 運用面での課題  |                              |             |           |
| 3-1         | コスト、作業の明確化                   |             |           |
| 3-2         | カード紛失時の手続の明確化(廃止、一時停止、再活性化等) |             |           |
| 3-3         | 検証者に求められる要件等の情報提供            |             |           |
| 3-4         | 電子証明書失効時のサービス継続性             |             |           |
| 3-5         | 紐付されたサービス特定のための機能            |             |           |